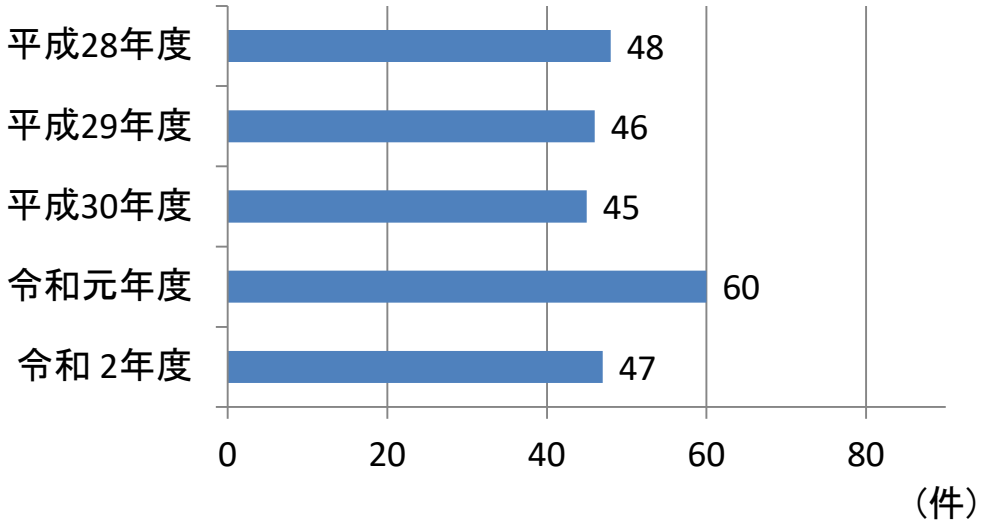
14　超重症児の手術件数

解説	超重症児とは，食事摂取機能の低下や栄養吸収不良などの消化器症状,呼吸機能の低下のために濃密な治療を必要とする小児です。超重症児の手術は健康な小児の手術に比べ,より高度な医療技術と治療体制が必要です。熟練した小児外科医や麻酔科医の配置が必要ですので,小児医療の質の高さを表す指標となります。
実績	
定義	「A212-1-イ超重症児入院診療加算」及び,「A212-2-イ準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術件数（医科診療報酬点数表区分番号K920,K923,K924（輸血関連）以外の手術）です。